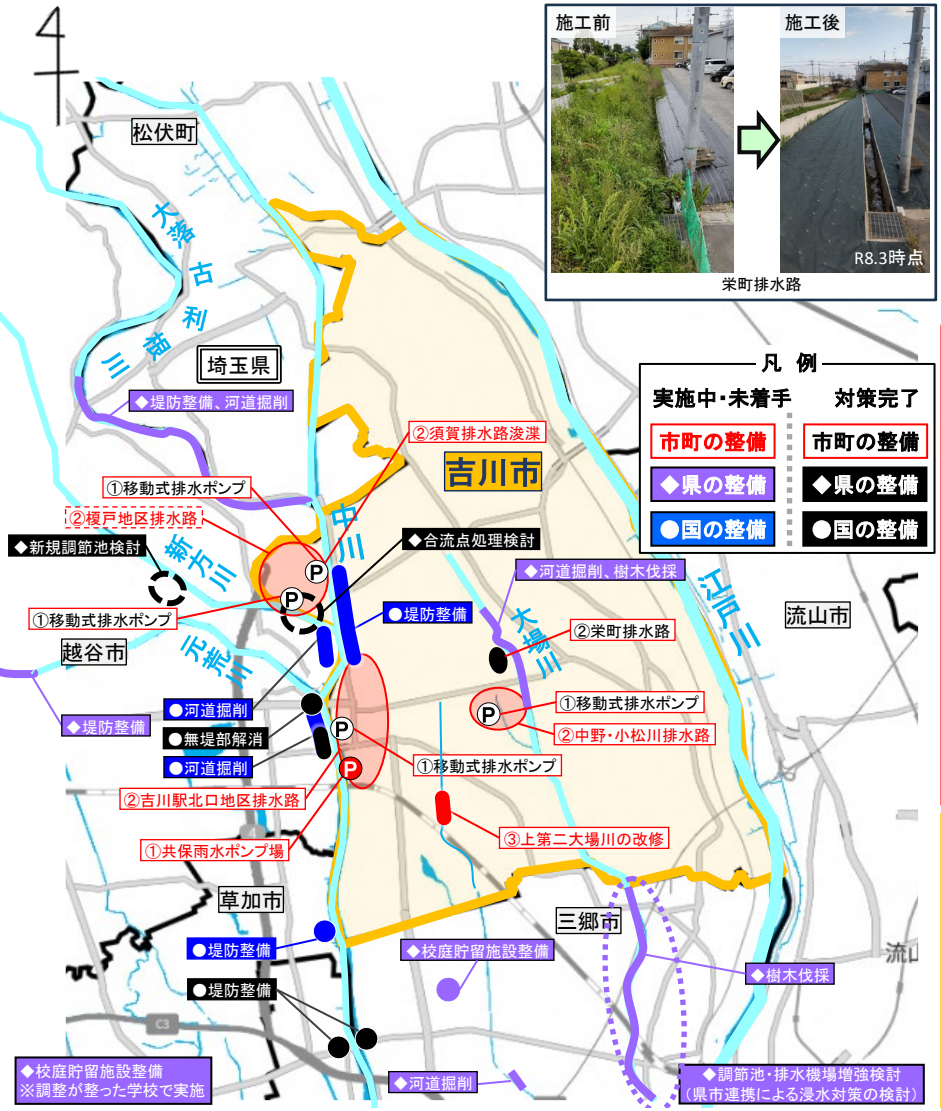
中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクトの進捗状況（吉川市）

吉川市

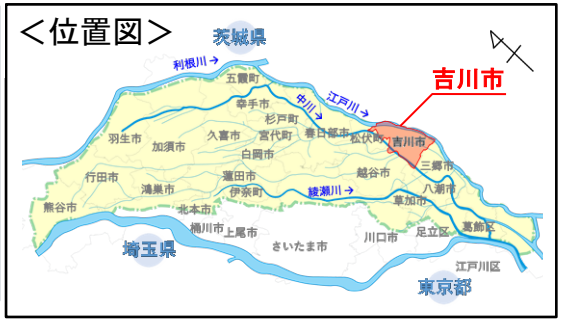
～令和５年６月大雨を受けて国・県・市町が連携し、緊急的な取組を実施～

【R8.8末時点】

○吉川市では、**「氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策」**として、内水氾濫に対応するための排水ポンプ施設の整備、排水路の整備、準用河川の整備を行います。**「被害対象を減少させるための対策」**として、特定都市河川浸水被害対策法に係る検討・調整を実施します。また、**「被害の軽減、早期復旧・復興のための対策」**として、小型浸水センサの設置により浸水箇所を早期に把握し、早期復旧・復興に努めます。



栄町排水路



●氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

対策内容	対象地区	主体	進捗率（20% 40% 60% 80% 100%）
①排水ポンプ施設の整備	①-1共保雨水ポンプ場の増強	市	20%
	①-2移動式排水ポンプの更新	市	100%
②排水路の整備	②-1 須賀排水路浚渫	市	100%
	②-2 栄町排水路	市	100%
	②-3 中野・小松川水路（浚渫含む）	市	20%
	②-4 吉川駅北口地区	市	20%
	②-5 榎戸地区	市	20%
③準用河川の整備	上第二大場川の改修	市	75%

※ 国による「河川整備・旧堤撤去【中川】」、県による「河道掘削・樹木伐採」【大場川】、合流点処理検討【新方川】の進捗状況は別紙のとおり

●被害対象を減少させるための対策

- 令和6年度は、流域水害対策計画の策定に向けた調整を行い、令和7年3月に計画が策定されました。
- 今後は、貯留機能保全区域の設定に向けて関係機関と協議します。

流域水害対策計画の策定

令和7年3月策定済

●被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 令和6年度は、市内20箇所に小型浸水センサの設置を行いました。
- 定期的に実施している減災プロジェクにより避難行動の理解促進、地域コミュニティによる減災力の向上を図っています。

避難体制等の強化

減災プロジェクトを毎年実施

浸水センサの設置

令和6年度設置済

実施状況